

事務事業実績測定調書

R4調書番号 102

事務事業名称	大規模小売店舗届出受理等事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	商工振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的の事務事業
事業期間	2012(H24)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	大規模小売店舗立地法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	枚方市大規模小売店舗立地審議会				
事業対象	メインターゲット	市内に設置される大規模小売店舗			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	法令に基づき手続きを実施する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	大規模小売店舗を設置する者によりその施設の配置及び運営方法について適正な配慮がなされることを確保することにより、小売業の健全な発達を図り、経済及び地域社会の健全な発展、環境保全や市民の安全安心に繋がっている。				
事業概要	大規模小売店舗立地法に係る相談 開発・建築確認に係る事前協議 大規模小売店舗立地法に係る届出受理				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			大規模小売店舗立地法に係る届出を受理する。				法令に基づいた手続きを実施する。			
指標設定	指標説明		大規模小売店舗立地法に係る届出受理件数				大規模小売店舗立地法に係る届出に関する相談や、物販店舗を設置する際の開発・建築確認に係る事前協議件数			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		6	6	6	6	9	9	9	9
	実績		12	11	10		12	11	10	
達成度			167%				111%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.50
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	6.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	5,981	2,750	3,906		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	48	105		
	人件費計	5,981	2,798	4,011		
	物件費計	4,862	5,049	4,807	4,807	100.0%
	歳出計	10,843	7,847	8,818		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の物件費については、人員配置をもとに平均物件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	3,239	3,978	2,127	3,346	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	3,239	3,978	2,127	3,346	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	1,623	1,071	2,680	1,461	

5. 総括的分析

総括的分析	事前協議及び、大規模小売店舗立地法に基づく届出について適切に対応し、経済及び地域社会の健全な発展、環境保全や市民の安全安心につながった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き法令に基づき適正な手続きを実施する。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 505

事務事業名称	地域産業基盤強化事業(補)										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	商工振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標	21.地域産業が活発に展開されるまち									
	実行計画名	21-3.工業の活性化									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業		
事業期間	2007(H19)年度		年度	～	年度まで		
根拠法令等	枚方市地域産業基盤強化奨励金交付要綱						
関係補助金名称	地域産業基盤強化奨励金			サンセット	2023(R5)年度	～	2025(R7)年度
関係附属機関名称	枚方市地域産業基盤強化奨励金審査会						
事業対象	メインターゲット	産業集積地域において製造業を営む事業者					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	既存工場の場合は、市内での継続かつ安定した操業が、新設工場の場合は、新たな操業地の選定がそれぞれ必要である。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	補助金を得ることにより、運転資金の増加、経営の安定化が図られ、また、企業流出の抑制及び市内転入を図ることで、雇用者数数の増加、定住促進に繋がり、市内産業の活性化に繋がっている。						
事業概要	製造業にあたる事業者が産業集積促進地域において新たに取得した土地・家屋・償却資産について、固定資産税額の50%相当額を3年間補助する。						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		企業の市外流出の抑制及び市内転入が図られている。				補助金を得ることにより、運転資金の増加、経営の安定化が図られる。				地域産業基盤強化奨励金を交付する。			
指標設定	指標説明	補助金交付終了から3年後、引き続き市内で操業する事業者の割合 【算出式: 補助金交付終了から3年後、引き続き市内で操業する事業者 / 当時、補助金交付件数 ×				新規補助金交付件数				事前計画の受理件数			
		単位 %				単位 件				単位 件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	100	100	100	100	2	2	2	2	2	2	2
	実績	100	100	100		1	1	2		2	1	3	
	達成度	100%				100%				150%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.50
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	4.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,190	2,357	3,906		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	76	38	57		
	人件費計	3,266	2,395	3,963		
	物件費計	17,040	23,965	22,141	22,141	100.0%
	歳出計	20,306	26,360	26,104		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	17,040	23,965	22,141	22,141	

5. 総括的分析

総括的分析	令和4年度の当該奨励金交付件数は4件で、令和4年度末時点で補助金交付終了から3年経過する事業者(1社)は操業を継続していた。また、令和4年度から補助金の新規交付対象となった事業者数に関しては、該当する事業者が見込みどおり達成した。引き続き制度周知に取り組む。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き制度周知を図り、市内における新たな企業立地や設備投資を促進する。

事務事業名称	住工共生環境対策支援事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	商工振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		21.地域産業が活発に展開されるまち								
	実行計画名		21-3.工業の活性化								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2018(H30)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市住工共生環境対策支援事業補助金交付要綱				
関係補助金名称	住工共生環境対策支援事業補助金		サンセット	2021(R3)年度	～ 2023(R5)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内で操業する製造業を営む中小企業者のうち、臭気・騒音などで近隣住民等からの苦情を受け、環境対策が必要な事業者			
	サブターゲット	環境対策を行った事業者の近隣住民等			
	ターゲットが抱える課題	住民からの臭気・騒音等で地域住民等から苦情を受けると、市内で操業環境を維持することが困難となる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	地域住民との良好な関係を築き、市内での操業環境が維持でき、企業が定着し、周辺住民の生活環境も守られる。				
事業概要	近隣住民等から騒音等に関する苦情申立てを受けている中小企業者を対象に、環境対策を行った場合、2分の1を補助する。(上限5,000,000円)				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	市内での操業環境が維持でき、企業が定着する。				騒音等の環境対策に取り組む。				住工共生環境対策支援事業補助金を交付する。				
指標設定	指標説明	補助金交付後、引き続き市内で操業する事業者の割合				住工共生環境対策支援事業補助金の交付件数				住工共生環境対策支援事業補助金の受付件数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	単位		%		単位		件		単位		件	
		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	100	100	100	100	1	1	1	1	1	1	1
実績	0	0	0		0	0	0		0	0	0		
達成度	0%				0%				0%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.10
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	239	786	781		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	239	786	781		
	物件費計	0	0	0	5,000	0.0%
	歳出計	239	786	781		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人員配置については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	5,000	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	5,000	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	市内の工業系用途地域において工場等を操業する企業に対し、住工混在の現状等に係るアンケート調査を実施し、制度内容の検討を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	令和5年4月に要綱改正を行い、予防的措置にも活用できるよう補助金の対象を拡充する。具体的な活用事例を提示し、関係団体等への周知を図り、交付件数の増加に努める。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 507

事務事業名称	事業資金融資補助事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	商工振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		21.地域産業が活発に展開されるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市小企業事業資金融資あっせん等に関する要綱・枚方市開業資金等融資に係る信用保証料補給金交付要綱				
関係補助金名称	商工振興事業資金融資信用保証料補給金 大阪府開業資金融資信用保証料補給金		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内で6か月以上事業を営む小企業事業者および市内で創業する事業者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	事業運営等に必要な資金が不足し、融資を受ける必要が発生する。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市小企業事業資金融資および大阪府中小企業事業融資制度の開業資金融資において信用保証料を補給することで、事業者の負担が軽減される。				
事業概要	枚方市小企業事業資金融資を受けた事業者に対して、10万円を限度に信用保証料を補給する。 大阪府中小企業事業融資制度の開業資金を利用した事業者に対して、10万円を限度に信用保証料を補給する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
	経営が安定する。	事業運営に必要な資金が確保される。				商工振興事業資金融資信用保証料補給金を交付する。							
指標設定	指標説明	アンケートの満足度(※制度利用の理由や満足度等についてのアンケート) 【算出式:アンケートで満足と回答した事業者/アンケート回答数×100】				商工振興事業資金融資信用保証料補給金交付件数				商工振興事業資金融資受付件数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値	単位	%	単位	件	単位	件	単位	件	単位	件	単位	件
	達成度	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	100	100	100	100	5	5	5	5	5	5	5	5
	実績	0	0	0		4	2	2		2	2	2	
	達成度	0%				160%				160%			

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		経営が安定する。				開業に必要な資金が確保される。				大阪府開業資金融資信用保証料補給金を交付する。			
指標設定 ②	指標説明	アンケートの満足度(※制度利用の理由や満足度等についてのアンケート) 【算出式:アンケートで満足と回答した事業者/アンケート回答数×100】				大阪府開業資金融資信用保証料補給金交付件数				大阪府開業資金融資受付件数			
		単位		%		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	100	100	100	100	2	2	2	2	2	2	2	2
	実績	0	0	0		1	2	2		0	0	1	
達成度	0%				100%				50%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	2,791	1,571	1,562		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,791	1,571	1,562		
	物件費計	435	335	377	1,300	29.0%
歳出計		3,226	1,906	1,939		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	435	335	377	1,300	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
歳入計(物件費に充当される特定財源)		435	335	377	1,300	
一般財源(物件費に充当されるもの)		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	通常の融資の代わりに、利率や保証料で優遇や補助・給付のあるコロナ関連の融資を活用する事業者が多かった
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も引き続き、市内事業者の経営改善、安定化を図るため適正に実施する。

事務事業名称	商店街等活性化促進事業(補)											
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	商工振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち										
	施策目標	21.地域産業が活発に展開されるまち										
	実行計画名	21-2.商業の活性化										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2006(H18)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市商店街等活性化促進事業補助金交付要綱/枚方市商店街等活性化促進事業補助金交付要領				
関係補助金名称	商店街等活性化促進事業補助金		サンセット	2021(R3)年度	～ 2023(R5)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内の商店街			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	人口減少に伴う需要の縮小に加え、郊外の大店との競合、電子商取引の普及等により、市内の商店街はかつての賑わいを失っている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズや社会経済情勢の変化に付き合い、商店街自らが、コミュニティの生活支援としての機能・役割を認識し、積極的な活動に取り組んでいる 空き店舗が減少、商店街活性化が図られ、来客増など商店街の活性化が図られる 				
事業概要	<p>「オンリーワン商店街創造事業」「商店街PRソフト事業」「共同設備等ハード整備事業」「街路灯電気代補助事業」「商店街共同活性化事業」など、「買い物の場」を提供する商店街の商業機能回復を目的とした各種支援に取り組んできたが、地域の住民やコミュニティにとっての商店街の位置付けが、「買い物の場」から「多世代が共に暮らし働く場」に変化する中、R3年度から、こうしたニーズに応える役割・機能を高める商店街の取組への支援拡充を目的とした「まちづくり提案型事業」を、新たに実施。</p> <p>なお、商店街では、取組の担い手となる人材の確保・育成が課題となっており、今後も商工振興戦略アドバイザーなど域外人材が関わるなど、積極的な支援を行っていく。</p> <p>また、コロナ禍が長期化する中、地域における消費喚起・下支え、デジタルを活用した新しいビジネスモデルへの変革支援等を目的として、基盤構築のため、商店街等で一体的に取り組むキャッシュレス決済などデジタル化促進に向けた支援に取り組む。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	商店街の活性化が図られる。				アウトプット(活動結果)	補助金の活用により、中長期的に集客を確保する事業を実施する。(オンリーワン商店街創造事業)				インプット(活動)	商店街等活性化促進事業補助金の交付を決定する。(オンリーワン商店街創造事業)			
	指標説明	来街者数の増加率 【算出式: イベント等実施時/平常時(各年)×100】				補助金事業実施件数(オンリーワン商店街創造事業)				商店街等活性化促進事業補助金交付決定件数(オンリーワン商店街創造事業)					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)	103	103	103	103	7	7	7	7	7	7	7	7		
	実績	109	100	105		2	1	2		2	1	2			
達成度	102%				29%				29%						

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		商店街の活性化が図られる。				補助金の活用により、印刷物、ホームページその他の媒体を用いて商店街等を効果的に広報する又はそのための情報管理システムの構築を行う事業を実施する。(商店街PRソフト事業)				商店街等活性化促進事業補助金の交付を決定する。(商店街PRソフト事業)			
指標設定②	指標説明	来街者数の増加率 【算出式: イベント等実施時/平常時(各年)×100】				補助金事業実施件数(商店街PRソフト事業)				商店街等活性化促進事業補助金交付決定件数(商店街PRソフト事業)			
		単位		%		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	103	103	103	103	6	6	6	6	6	6	6	6
	実績	109	100	105		4	3	1		4	3	1	
	達成度	102%				17%				17%			
ロジックモデル③		商店街の活性化が図られる。				補助金の活用により、商店街等の魅力を高めるための共同整備等の設置又は補修等の事業を実施する。(共同設備等ハード整備事業)				商店街等活性化促進事業補助金の交付を決定する。(共同設備等ハード整備事業)			
指標設定③	指標説明	来街者数の増加率 【算出式: イベント等実施時/平常時(各年)×100】				補助金事業実施件数(共同設備等ハード整備事業)				商店街等活性化促進事業補助金交付決定件数(共同設備等ハード整備事業)			
		単位		%		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	103	103	103	103	3	3	3	3	3	3	3	3
	実績	109	100	105		2	2	0		2	2	0	
	達成度	102%				0%				0%			
ロジックモデル④		商店街の活性化が図られる。				補助金の活用により、商店街等の安全・安心の確保及び魅力の向上のための街路灯維持管理事業を実施する。(街路灯電気代補助事業)				商店街等活性化促進事業補助金の交付を決定する。(街路灯電気代補助事業)			
指標設定④	指標説明	来街者数の増加率 【算出式: イベント等実施時/平常時(各年)×100】				補助金事業実施件数(街路灯電気代補助事業)				商店街等活性化促進事業補助金交付決定件数(街路灯電気代補助事業)			
		単位		%		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	103	103	103	103	8	8	8	8	8	8	8	8
	実績	109	100	105		7	7	7		7	7	7	
	達成度	102%				88%				88%			

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル⑤		商店街の活性化が図られる。				補助金の活用により、2以上の商店街等や商店街等と近接する大型店舗が共同でイベント等の事業を実施する。(商店街共同活性化事業)				商店街等活性化促進事業補助金の交付を決定する。(商店街共同活性化事業)			
指標設定⑤	指標説明	来街者数の増加率 【算出式: イベント等実施時/平常時(各年)×100】				補助金事業実施件数(商店街共同活性化事業)				商店街等活性化促進事業補助金交付決定件数(商店街共同活性化事業)			
		単位		%		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	103	103	103	103	2	2	2	2	2	2	2	2
	実績	109	100	105		0	0	0		0	0	0	
	達成度	102%				0%				0%			
ロジックモデル⑥		商店街の活性化が図られる。				補助金の活用により、空き店舗に店舗を誘致することを目的としたチャレンジショップや交流施設若しくはコミュニティ施設の運営またはそのPRを行う事業を実施する。(空き店舗活用事業)				商店街等活性化促進事業補助金の交付を決定する。(空き店舗活用事業)			
指標設定⑥	指標説明	来街者数の増加率 【算出式: イベント等実施時/平常時(各年)×100】				補助金事業実施件数(まちづくり提案型事業)				商店街等活性化促進事業補助金交付決定件数(まちづくり提案型事業)			
		単位		%		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	103	103	103	103	1	1	3	3	1	1	3	3
	実績	109	100	105		0	1	1		0	1	1	
	達成度	102%				33%				33%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.50
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,583	7,621	3,906		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,583	7,621	3,906		
	物件費計	5,903	6,962	5,846	10,000	58.5%
	歳出計	11,486	14,583	9,752		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
		歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0
	一般財源(物件費に充当されるもの)	5,903	6,962	5,846	10,000	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、商店街の活動に制限があったため、多くの事業区分で事業が実施されなかった。R4年度は新たにデジタル化の取組についても対象となるよう枚方市商店街等活性化促進事業補助金交付要綱の改正を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取り組み方針	交付対象となる団体について、事業目的に沿った内容とするとともに、市内の商店街及び商業者にとってより活用しやすい制度とするため対象者要件等を見直す。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 509

事務事業名称	枚方市商業振興事業補助事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	商工振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標	21.地域産業が活発に展開されるまち									
	実行計画名	21-2.商業の活性化									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2006(H18)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称	枚方市商業振興事業補助金		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内の商業団体			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	商業振興および育成事業等を実施する際、経済的な負担が発生する。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	商業団体の経済的な負担が軽減され、取り組み内容が充実し、市内の商業団体の活性化が図られている。				
事業概要	<p>市内の商業振興に資することを目的に、市内の商業団体が商業の振興および育成事業等を実施した場合に枚方市商業振興事業補助金を交付する。</p> <p>主な実施事業 ①枚方市商業まつり大売出し事業:小売商業活動の活性化および消費者への還元を目的とし、市内全域での大売出し事業を実施。 ②ひらかたまちゼミ事業:市内の商店主が専門の講師となってプロの技術を顧客に提供し、信頼関係を構築することで商店街への来街者の増加を図り、市内商業活性化を促進する事業。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		市内全域における商店街・市場等の活性化が図られる。				補助金の活用により商業の振興および育成等の事業を実施する				商業振興補助金の交付を決定する			
指標設定	指標説明	来街者数の増加率 【算出式:事業実施時の来街者数 /同年平常時(事業非実施時)の 来街者数×100】				補助金事業実施件数				商業振興事業補助金の交付決定 件数			
		単位		%		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	103	103	103	103	1	2	2	2	1	2	2
	実績	103.50	101.10	102		1	2	2		1	2	2	
	達成度	99%				100%				100%			

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.25
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	1,595	3,143	1,953		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,595	3,143	1,953		
	物件費計	1,829	1,949	2,017	2,082	96.9%
	歳出計	3,424	5,092	3,970		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の物件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	1,829	1,949	2,017	2,082	

5. 総括的分析

総括的分析	まちゼミについては11月1日から30日に42店舗が65講座を開講した。周知方法に、インターネット広告を追加し、オンライン講座による開催を取り入れた結果、若年層の参加も見られた。 商業まつりについては、第57回の開催となり、まちゼミの周知と来街者の増加につなげることができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	補助金が効果的に活用され、市内商業の活性化につながるよう引き続き取り組んでいく。

事務事業実績測定調査

R4調書番号 515

事務事業名称	創業支援事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	商工振興課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3	○	R4		R5	
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		21.地域産業が活発に展開されるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	R2年度(2020年度)		年度	～	R5年度(2023年度)
根拠法令等	枚方市立地域活性化支援センター条例、枚方市テイクオフ補助金交付要綱				
関係補助金名称	テイクオフ補助金		サンセット	2023(R5)年度	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市での起業希望者及び地域活性化支援センター			
	サブターゲット	起業初期の中小事業者			
	ターゲットが抱える課題	市内関係機関との連携不足による「事業重複」のほか、地域活性化支援センター創業支援事業の周知不足により、的確な支援に繋がっていない。			
	ターゲットが抱える課題	事業継続の前提となる固定費(事務所賃借料)の支払いに不安がある。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	起業に向けた手厚いサポートがある「日本一、又は、関西一開業しやすいまち」になっている。				
事業概要	市内で創業支援に取り組む関係機関(商工会議所・ハローワーク枚方・大阪産業局・政策金融公庫・枚方信用金庫・枚方市)の連携強化を図るため、「創業支援連絡会」を2か月に1回開催。現在、地域活性化支援センターで取り組んでいる創業支援の殆どが、喫茶店・花屋などの開業レベルであること等を踏まえ、「スタートアップビジネス」と「ローカルビジネス」のいずれにも対応し、対象を焦点化できていない状況にある本市創業支援事業の再構築とともに、「空き店舗を市が借り受け起業希望者へ転貸する」斡旋紹介をはじめ、具体的な事業実施に取り組む。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		参加者が市内で起業する。				起業希望者がセミナーや相談の機会に参加し、支援を受ける。				起業者向けのセミナーや講習会の開催、相談業務を実施する。			
指標設定	指標説明	地域活性化支援センターの支援を受けた人の中での開業率				地域活性化支援センターの支援を受けた創業希望者				起業者向けのセミナーや講習会の開催数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)			90	90			300	300			50	50
実績			66.70				332				40		
達成度	74%				111%				80%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.82
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	0	6,406		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	0	6,406		
	物件費計	0	0	22,130	25,043	88.4%
	歳出計	0	0	28,536		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	2,324	3,600	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	2,324	3,600	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	19,806	21,443	

5. 総括的分析

総括的分析	創業支援事業連絡会を6回開催し、連携強化を図ったほか、連絡会主催で事業承継セミナーや労務環境改善セミナーを開催し、創業者への支援に取り組んだほか、昨年度に引き続き、民間人材を現場の実質的な所長として配置し、インキュベートルームの入居要件の緩和など施設の利用環境の充実に向けた検討に取り組んだ。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	地域活性化支援センターにおける創業支援のさらなる充実を目指し、インターネット環境の改善のほか、テレワークや創業の準備段階から経営支援まで幅広い利用が可能となるコワーキングスペース・シェアオフィスの設置、子育て世代の創業・就労を支援する一時預かり保育サービスの試行実施など、多様な利用ニーズにも応えられる利用環境の充実に取り組む。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 549

事務事業名称	北河内地域労働者福祉協議会負担金交付事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	商工振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		20.いきいきと働くことのできるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1998(H10)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	北河内地域労働者福祉協議会			
	サブターゲット	北河内地域の組織労働者及び中小未組織労働者			
	ターゲットが抱える課題	北河内地域労働者福祉協議会の運営の支援を行う必要がある。			
	ターゲットが抱える課題	北河内地域の組織労働者及び中小未組織労働者の福利厚生を充実する必要がある。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	北河内地域の組織労働者及び中小未組織労働者の福利厚生が充実している状態。				
事業概要	北河内地域における労働者の福祉活動を推進し、様々な事業を実施している、北河内地域労働者福祉協議会に対し、北河内7市が応分で負担金を交付している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		北河内地域の労働者の福利厚生 が充実する。				北河内地域労働者福祉協議会に よる福祉活動が実施される。				北河内地域労働者福祉協議会に 負担金を交付する。			
指標設定	指標説明	市共催事業参加者数				事業実施件数				負担金交付額			
		単位		人		単位		事業		単位		円	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	140	140	140	140	7	7	7	7	365,000	365,000	365,000	365,000
実績	0	0	101		3	3	8		365,000	365,000	365,000		
達成度	72%				114%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.10
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	1,595	1,571	781		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,595	1,571	781		
	物件費計	365	365	365	365	100.0%
	歳出計	1,960	1,936	1,146		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の物件費については、人員配置をもとに平均物件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	365	365	365	365	

5. 総括的分析

総括的分析	相談事業に加え、コロナ禍により開催を見送っていた福祉活動を順次再開しており、労働者の福祉に寄与している。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き負担金を支出するとともに、事業の支援を行う。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 550

事務事業名称	雇用対策事業											
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	商工振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち										
	施策目標	20.いきいきと働くことのできるまち										
	実行計画名	20-1.就労環境の向上										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2002(H14)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	人材確保を求める市内事業者			
	サブターゲット	就職希望者(就職氷河期世代)			
	ターゲットが抱える課題	求人側と求職側の需要が合わず、市内事業者の雇用に不足が生じており、業種や雇用形態、地域の壁を越えた人材移動が進まない。			
	ターゲットが抱える課題	コロナ禍が長期化する中、人材が不足する業種は変化しているが、そうした業種で働くために必要とされる能力を身に付けられていない、または、希望する職種の求人が限られている。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	人材確保が図られることで市内事業者の持続的な発展、延いては地域産業の活性化が図られている。				
事業概要	就職氷河期世代を対象として、ハローワーク枚方など関係機関と連携した地域別就職面接会などの事業を展開する【市内企業若者雇用推進事業(概ね35歳未満対象)とのすみ分けを図る】。あわせて、就職氷河期世代の社会参加や就労に向けた活動のネックとなる経済的負担の軽減を図るため、新たに「就労を前提とした奨学金の返還支援制度」構築に向け、取り組む(国交付金を活用)。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	市内事業者の持続的な発展、地域産業の活性化が図られるとともに、本市の労働人口の増加が図られる。	市内事業者において、必要な人材が確保される(地域別就職面接会)。				地域別就職面接会における就職者数 ※令和3年度までの指標は来場者数				就職氷河期世代を対象として、ハローワーク枚方など関係機関と連携した「地域別就職面接会」を開催する。			
指標設定	指標説明	ハローワーク枚方管内における充足数のうち他県からの充足数の割合 【算出式:他県からの充足数/充足数×100】 ※令和3年度までの指標は来場者における就職率				地域別就職面接会における就職者数 ※令和3年度までの指標は来場者数				地域別就職面接会開催数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	7	12	10	10	95	139	1		1	1	1	
達成度	100%				10%				100%				

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		市内事業者の持続的な発展、地域産業の活性化が図られるとともに、本市の労働人口の増加が図られる。				市内事業所への就業が促進される				就労を前提とした奨学金の返還支援制度を構築する。			
指標設定 ②	指標説明	ハローワーク枚方管内における充足数のうち他県からの充足数の割合 【算出式:他県からの充足数/充足数×100】 ※令和3年度までの指標は来場者における就職率				奨学金返還支援制度を利用し市内事業所へ就業した数				奨学金返還支援制度の申請件数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	16	16	10	10	-	-	5	5	-	-	5	5
	実績	7	12	10			0				0		
	達成度	100%				0%				0%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.25
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,393	1,964	1,953		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,393	1,964	1,953		
	物件費計	921	921	921	1,372	67.1%
	歳出計	3,314	2,885	2,874		
歳入	国庫支出金	0	0	0	338	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	0	338
	一般財源(物件費に充当されるもの)	921	921	921	1,034	

5. 総括的分析

総括的分析	コロナ禍の落ち着きと共に全体的な求人件数は増加しているものの、就職氷河期世代における就職状況は依然として厳しく、目標数値を達成することが出来なかった。引き続き、周知等関係機関との一層の連携が望まれる。また、奨学金返還支援補助金においては、要件に合致する申請がなかったことから制度の見直しを行い、対象要件を緩和した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	多くの市内中小事業者では、人手不足が課題となっており、引き続き関係機関と連携した事業周知を含む積極的な取組を行うことで、市内産業の活性化を目指していく。また、令和5年4月に奨学金返還支援補助金の対象要件を緩和するとともに、ハローワーク枚方と連携した面接会を開催し、就職氷河期世代への支援に取り組む。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 551

事務事業名称	地域就労支援事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	商工振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標	20.いきいきと働くことのできるまち									
	実行計画名	20-1.就労環境の向上									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2002(H14)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	高齢者や障害者、ひとり親など就労に困難な要因を抱える方			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	就労を希望しているものの、困難な要因を抱え就職できない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	就労し、自立した生活を送ることができ、すべての人々がいきいきと暮らしている。				
事業概要	障害者、母子家庭の母親、父子家庭の父親、中高年齢者など、働く意欲がありながら、様々な就労阻害要因のために就労できない就職困難者等に対する就労支援を行う。 ①就労支援コーディネーターによる就労に関する相談 ②市や国・府の制度などの情報提供 ③各種能力開発研修・講座の開催及び情報提供。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		就職困難者等が就労し、自立した生活を送ることができる。				就職困難者等が就労相談に訪れる。				就職困難者等に対する就労相談の場を設ける。			
指標設定	指標説明	就職者数				新規相談者数				就労相談窓口開設日数			
		単位		人		単位		人		単位		日	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		30	30	30	30	100	100	100	100	4	196	198	196
	実績	23	28	35		80	102	120		4	193	196	
	達成度	117%				120%				99%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	1,994	1,571	1,562		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,994	1,571	1,562		
	物件費計	9,442	9,436	9,436	9,436	100.0%
歳出計		11,436	11,007	10,998		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	2,288	2,302	2,414	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	2,288	2,302	2,414	
一般財源（物件費に充当されるもの）		9,442	7,148	7,134	7,022	

5. 総括的分析

総括的分析	就労支援のための各種講座として、パソコン講習会、介護職員初任者研修、調剤薬局事務講座、フォーキフト運転技能講習・玉掛け技能講習を実施した。各種就労支援講座から新規相談に繋がったことに加え、新たにオンライン就労相談を試行実施したことで利便性が向上し、新規相談者数及び就労者数の増加に繋がった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	就労支援のためのセミナー・能力開発講座等を開催するとともに、オンライン就労相談を本格実施し、関係機関と連携した就労支援を行う。

事務事業名称	市内企業若者雇用推進事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	商工振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標	20.いきいきと働くことのできるまち									
	実行計画名	20-1.就労環境の向上									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2016(H28)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	若手の人材の確保を要する市内事業者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	企業において若年層の人材が不足すると、技術の継承ができなかったり、売上の達成が困難となるなど、事業への影響が発生する。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	若年層の人材を確保することにより、健全な事業運営が可能となり、市内産業の活性化が図られている。				
事業概要	<p>市内ものづくり産業の活性化に向け、市内中小企業の人材確保及び若年求職者を中心とした安定雇用を目的に、求職前段階から就職、さらに就職後の定着支援までを一貫とする支援策を実施する。若年求職者(概ね40歳未満)および市内で事業活動を行っている市内中小企業を対象に以下の事業に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> 採用体制整備「若年者採用企業向けセミナー」 市内中小企業PR「企業見学バスツアー及び交流会」 マッチングの機会提供「合同企業就職説明会・面接会」 面接会参加企業のPR・情報発信支援「プロモーションビデオ制作」 早期離職防止・定着支援「定着支援研修」 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	市内事業者において、健全な事業運営ができる。				アウトプット (活動結果)	市内事業者において、若年層の人材が確保される。(若年者採用企業向けセミナー)				インプット (活動)	効果的な求職求人活動ができる機会を提供する。(若年者採用企業向けセミナー)			
	指標説明	事業者アンケート満足度 【算出式:参加企業のうちアンケートで満足と回答した企業数/参加企業数×100】				企業向け採用支援セミナー参加企業数				企業向け採用支援セミナー開催回数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	80	80	80	80	40	40	40	40	1	1	1	1		
	実績	82	54	72		26	27	5		2	1	1			
達成度	90%				13%				100%						
ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)	市内事業者において、健全な事業運営ができる。				アウトプット (活動結果)	市内事業者において、若年層の人材が確保される。(求職者向けセミナー及び交流会)				インプット (活動)	効果的な求職求人活動ができる機会を提供する。(求職者向けセミナー及び交流会)			
	指標説明	事業者アンケート満足度 【算出式:参加企業のうちアンケートで満足と回答した企業数/参加企業数×100】				求職者向けセミナー及び交流会参加者数				求職者向けセミナー及び交流会開催回数					
指標設定②	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	80	80	80	80	30	30	30	30	1	1	1	1		
	実績	82	54	72		11	23	25		3	3	2			
達成度	90%				83%				200%						

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③		市内事業者において、健全な事業運営ができる。				市内事業者において、若年層の人材が確保される。(合同企業就職面接会)				効果的な求職求人活動ができる機会を提供する。(合同企業就職面接会)			
指標設定③	指標説明	事業者アンケート満足度 【算出式:参加企業のうちアンケートで満足と回答した企業数/参加企業数×100】				合同就職面接会参加者数				合同就職面接会開催回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	80	80	80	80	150	150	150	150	2	2	2	2
	実績	82	54	72		9	159	131		1	2	6	
達成度	90%				87%				300%				
ロジックモデル④		市内事業者において、健全な事業運営ができる。				早期離職が防止される。				就職後の定着支援を実施する。			
指標設定④	指標説明	事業者アンケート満足度 【算出式:参加企業のうちアンケートで満足と回答した企業数/参加企業数×100】				定着支援セミナー参加社数				定着支援セミナー開催件数			
		単位		%		単位		社		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	80	80	80	80	25	25	25	25	1	1	1	1
	実績	82	54	72		30	12	0		1	1	0	
達成度	90%				0%				0%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.50
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	3.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	6,380	2,750	3,906		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	162	105		
	人件費計	6,380	2,912	4,011		
	物件費計	7,213	11,119	11,931	12,111	98.5%
歳出計		13,593	14,031	15,942		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	2,808	2,816	2,896	2,802	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)		2,808	2,816	2,896	2,802	
一般財源(物件費に充当されるもの)		4,405	8,303	9,035	9,309	

5. 総括的分析

総括的分析	前年度に引き続き委託業者の選定を公募型プロポーザルで実施。合同面接会や合同インターンシップに取り組んだ結果、19名(令和3年度は17名)の正社員採用に繋がった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、市内中小企業の人材確保及び若年求職者の安定雇用を目指し、取組を進める。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 558

事務事業名称	技能勤労者表彰事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	商工振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		21.地域産業が活発に展開されるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1970(S45)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市技能勤労者表彰要綱				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	枚方市技能勤労者表彰審査会				
事業対象	メインターゲット	次の要件のいずれにも該当する者とする。 ① 市内に引き続き5年以上居住し、かつ、住民基本台帳に記録されていること。 ② 主として市内で別表に規定する職種に従事していること。 ③ 技能者として同一の職種に15年以上従事し、かつ、満35歳以上であること。 ④ 優れた技能を持ち、後進の指導育成に寄与し、及び勤務成績、日常行為等において他の模範と認められていること。 ⑤ 常時雇用する従業員数が100人以下(卸売、小売及びサービス業の場合にあっては、50人以下)の事業所に従事していること。			
	サブターゲット	技能を必要とする業務を実施する事業者			
	ターゲットが抱える課題	技能勤労者の意欲向上を図る。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	技能勤労者の社会的地位の向上と技能水準の向上が図られている状態。				
事業概要	各種業種団体に被表彰候補者の有無について照会するとともに、広報ひらかたにより被表彰候補者の推薦を募集。被推薦者を枚方市技能勤労者表彰審査会において選考し、表彰式を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		技能勤労者の社会的地位の向上と技能水準の向上が図られる。				応募があった技能勤労者を、技能勤労者表彰審査会で審査し、表彰する。				永く同一の職業に従事し、優れた技能を持つ技能勤労者を募集する。			
指標設定	指標説明	被表彰者の累計				被表彰者数				推薦依頼件数			
		単位		人	単位		件	単位		件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	8	1,006	1,011	1,016	8	4	5	5	21	21	21	21
実績	5	1,010	1,017		5	4	7		21	21	20		
達成度	101%				140%				95%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.25
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	5.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	3,988	3,929	1,953		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	57	57	48		
	人件費計	4,045	3,986	2,001		
	物件費計	28	17	21	45	46.7%
	歳出計	4,073	4,003	2,022		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人員配置については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	28	17	21	45	

5. 総括的分析

総括的分析	市内の7企業団体に対する訪問によるPR等を実施した結果、目標値を上回る推薦を受け表彰することが出来た。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	被推薦者の減少に伴い、引き続き本表彰制度の周知を行うとともに、実状に沿った表彰要件となるように見直しを検討する。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 561

事務事業名称	産業振興対策審議会運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	商工振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		21.地域産業が活発に展開されるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	2010(H22)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市産業振興基本条例および枚方市産業振興対策審議会規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	産業振興対策審議会				
事業対象	メインターゲット	産業振興対策審議会			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	産業振興対策審議会の運営を円滑に行うことが出来ない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	産業振興対策審議会の運営を円滑に行うことが出来ている状態。				
事業概要	市長の附属機関として産業振興対策に関する重要事項について調査審議し、答申および意見具申を行う審議会の円滑な運営を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.75
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	6.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	0	1,179	5,859		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	266		
	人件費計	0	1,179	6,125		
	物件費計	0	29	0	0	
	歳出計	0	1,208	6,125		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人員配置については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	29	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	商工業の分野に特化し、市の支援策の方針等について審議し、今後の商工業支援のあり方について意見具申を受けた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	観光・農業・地域コミュニティの分野（各1名）及び市民委員（1名）の委嘱を行い、6名から10名に拡充した委員構成にて審議会を開催し、「ニューノーマル時代における本市の産業のあり方について」答申を受ける。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 562

事務事業名称	地域商工業振興事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	商工振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		21.地域産業が活発に展開されるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1989(H1)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	新たな事業展開を行おうとする市内事業者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	新たな事業展開を行う際のノウハウが不足している。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	情報提供や支援を行うことで、多様なノウハウの取得によりイノベーションを図り新たな事業展開が可能となり、市内産業の活性化が図られる。				
事業概要	中小商工業者の振興と育成を目的とした、地域経済動向調査事業、中小企業魅力発信支援事業、工業団体育成研修事業等を実施し、商工業の総合的な改善発達を図る。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市内産業の活性化が図られる。				多様なノウハウの取得によりイノベーションを図り新たな事業展開が可能となる。				中小企業魅力発信支援事業を実施する。			
指標設定	指標説明	商談が成立した件数				参加事業者数				事業件数			
		単位		件		単位		社		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	15	15	15	15	20	20	20	20	2	2	2	2
達成度	100%				90%				50%				
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市内産業の活性化が図られる。				多様なノウハウの取得によりイノベーションを図り新たな事業展開が可能となる。				工業団体育成研修事業を実施する。			
指標設定②	指標説明	商談が成立した件数				セミナー開催数				支援する団体数			
		単位		件		単位		回		単位		団体	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	15	15	15	15	6	6	6	6	3	3	3	3
達成度	100%				17%				33%				

ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市内産業の活性化が図られる。				多様なノウハウの取得によりイノベーションを図り新たな事業展開が可能となる。				地域経済動向調査事業を実施する。			
指標設定 ③	指標説明	商談が成立した件数				調査報告書の配布企業数				調査回数			
		単位		件		単位		社		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	15	15	15	15	800	800	800	800	2	2	2	2
実績	0	14	15		861	659	700		2	2	2		
達成度	100%				88%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.10
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	2,393	1,571	781		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,393	1,571	781		
	物件費計	4,155	2,848	3,361	3,829	87.8%
歳出計	6,548	4,419	4,142			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	
一般財源(物件費に充当されるもの)	4,155	2,848	3,361	3,829		

5. 総括的分析

総括的分析	地域経済動向調査事業は、年2回市内事業者へのアンケート調査を実施しており、中小企業魅力発信事業、工業団体育成研修事業については、商工会議所に委託して実施しており、中小事業者の振興と育成を図るべくより効果のある事業となるよう取り組んでいく。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も引き続き、情報提供や支援を行うことで、市内産業の活性化につなげていく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 564

事務事業名称	公設市場維持管理事業										
測定年度	2022(R4)年度		部	観光にぎわい部			課	商工振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		21.地域産業が活発に展開されるまち								
	実行計画名		21-2.商業の活性化								

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市公設市場条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公設市場利用者			
	サブターゲット	公設市場内の各店舗			
	ターゲットが抱える課題	利用者や店舗が安心して利用や運営ができるよう適切な維持管理が求められる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公設市場が適切に維持管理され、利用者や店舗が安心して利用や営業できている状態。				
事業概要	公設市場サンパーク・年度当初に公設市場の使用許可を行い、毎月使用料を徴収。 <使用料>店舗652.26㎡ 1㎡当たり1,650円 倉庫116.21㎡ 1㎡当たり1,230円 <使用団体>枚方市西口公設市場商業協同組合 <営業時間・定休日>午前9時30分～午後8時30分【定休日】日曜日、年末年始 <販売品目>食料品、衣料品、日用品等 <業務委託>機械設備点検等各種業務委託				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
					適切に補修等の維持管理を行う。				施設の保守点検等を実施する。			
指標設定	指標説明				修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				保守点検契約数			
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
					単位				単位			
					%				件			
	指標数値				R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標 (見込み)				80	80	80	80	12	12	12	12	
実績				70.50	49.70	59.94		11	12	10		
達成度				75%				83%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.70
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,994	2,750	5,468		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,994	2,750	5,468		
	物件費計	53,432	20,712	124,670	142,739	87.3%
	歳出計	55,426	23,462	130,138		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	14,638	14,638	12,294	12,338	
	市債	0	0	78,000	87,800	
	その他	7,862	8,386	12,666	13,900	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	22,500	23,024	102,960	114,038	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	30,932	0	21,710	28,701	

5. 総括的分析

総括的分析	施設保全計画に基づき、昇降機更新工事、外壁改修工事を行った。 設置後、33年が経過し老朽化が進んでいるが、保全計画をはじめ、適切な管理に取り組むとともに、現場ともコミュニケーションを図りながら、維持管理に務めた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	施設保全計画に基づく、屋上防水他改修工事を実施するとともに、引き続き、市場関係者をはじめ現場職員とも情報共有しながら適切な維持管理に努めていく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 565

事務事業名称	商店街整備計画等認定事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	商工振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標	21.地域産業が活発に展開されるまち									
	実行計画名	21-2.商業の活性化									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2007(H19)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	中小小売商業振興法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内の商店街			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	法令に基づき手続きを実施する必要。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	法令に基づいた適切な運用が行えている。				
事業概要	アーケード、街路灯、その他の施設又は設備を設置する法人格を有する商店街振興組合等の団体に対して商店街整備計画等の認定を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
			商店街整備計画等を認定する。				商店街整備計画等を受け付ける。				
指標設定	指標説明		商店街整備計画等の認定件数				商店街整備計画等の受付件数				
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績		1	1	1	1	1	1	1	1
		達成度		0%				0%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	0	0		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	0	0		
	物件費計	0	0	0	0	
	歳出計	0	0	0		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	商店街を含む開発がなかったため、申請が発生しなかった。
-------	-----------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	申請があった際には、適正に審査し認定を行う。

事務事業名称	新型コロナウイルス感染症対策事業(市内事業者支援事業)										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	商工振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標	21.地域産業が活発に展開されるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	R2年度(2020年度)		年度	～	年度まで
根拠法令等	緊急融資信用保証料補給金、感染拡大防止飲食店サポート事業、小規模事業者事業継続支援金、枚方市飲食店等感染症対策備品購入補助金				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている市内事業者			
	サブターゲット	全市民			
	ターゲットが抱える課題	新型コロナウイルス感染症の影響で、売り上げが減少し、また行政機関からの要請等により対策を講じるための費用負担が生じている。			
	ターゲットが抱える課題	新型コロナウイルス感染症の影響で、安心して買い物や食事する機会が減少している。			
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	新型コロナウイルス感染症対策の影響で売り上げが減少した事業者に対して、適切な支援が継続的に実施される。また、経済活性化を目指し、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行っている店舗を増やすことで、市民に地域の商店街などで安心して買い物や食事を楽しんでもらえる状態。				
事業概要	<p>コロナ禍が長期化する中、国の支援制度では行き届かないところへの市独自の支援として、以下の事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「事業者支援総合相談窓口」を設置し、「セーフティネット保証4号」「セーフティネット保証5号」「危機関連保証」といった一般保証とは別枠の保証の対象とする資金繰り支援を実施。 「感染拡大防止飲食店サポート事業」として、市内におけるクラスター発生等による感染者数のリバウンド防止を目的として、調査員が市内飲食店を訪問し、感染症対策実施状況に応じてアドバイスを実施するとともに国・府を含む各種支援策を周知することで、各店舗の感染防止対策の取り組みをサポートする。 「緊急融資信用保証料補給金事業」として、市の認定を受け、大阪府の新型コロナウイルス感染症関連融資において400万円以下の融資実行を受けた事業者に対し、信用保証協会へ支払った信用保証料を10万円を限度に交付を行う。 新型コロナウイルス感染症により影響を受けている市内の感染症対策店を支援するとともに、地域における消費を喚起・支えするため、プレミアム付商品券の発行を行うもの。あわせて、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得世帯(2021年度住民税非課税世帯及び、収入が著しく減収した生活困窮世帯)に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、同商品券を無償配布する。 小規模事業者の事業継続支援のため「小規模事業者等事業継続支援金」の支給などを行う。 「枚方市飲食店等感染症対策備品購入補助金事業」として、市内の飲食店等において、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策備品として、令和3年4月1日以降に購入した非接触消毒液ディスペンサー、サーキュレーターの購入代金及び送料のうち実費負担額を補助する。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	多くの事業者が支援を受けることができる。				アウトプット(活動結果)	広報の効果で、支援を必要とする多くの事業者が申請を行うことができる。				インプット(活動)	経済的支援を必要とする事業者等に広く周知し、認識してもらうための広報活動を行う。			
	指標説明	経済動向調査における支援を受けた事業者の割合【算出式:市の支援策を受けたと回答した事業者数/経済動向調査に回答した事業者数】				事業者等の支援事業に対する申請件数				ポスター・チラシの配布件数及び窓口や訪問等での提案件数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)	80	80	80	80	3,400	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000		
	実績	0	21	27		513	1,744	477		5,767	5,010	477			
達成度	34%				10%				10%						

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		多くの事業者が支援を受けることができています。				受付に対し、適切に対応する。				事業者支援総合相談窓口で相談を受け付ける。			
指標設定②	指標説明	経済動向調査における支援を受けた事業者の割合【算出式:市の支援策を受けたと回答した事業者数/経済動向調査に回答した事業者数】				事業者支援総合相談窓口対応件数				事業者支援総合相談窓口受付件数			
		単位		%		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	80	80	80	80	80	88	30	30	4,000	14,300	6,500	6,500
	実績	0	21	27		81	7	-		4,546	10,440	729	
	達成度	34%								11%			
ロジックモデル③		多くの事業者が支援を受けることができています。				市内店舗に対し、訪問員による感染予防対策等のアドバイスを行う。				市内店舗に対し、訪問員による感染予防対策等のアドバイスを実施するための訪問を行う。			
指標設定③	指標説明	経済動向調査における支援を受けた事業者の割合【算出式:市の支援策を受けたと回答した事業者数/経済動向調査に回答した事業者数】				訪問員がアドバイスを実施した店舗数				訪問員による訪問店舗数			
		単位		%		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	80	80	80	80	1,000	1,401	-	-	1,000	2,000	-	-
	実績	0	21	27		815	1,916	-		1,221	3,720	-	
	達成度	34%											
ロジックモデル④		多くの事業者が支援を受けることができています。				申請に対し、適切に交付を実施する。				「緊急融資信用保証料補給金事業」の申請を受け付ける。			
指標設定④	指標説明	経済動向調査における支援を受けた事業者の割合【算出式:市の支援策を受けたと回答した事業者数/経済動向調査に回答した事業者数】				交付件数				申請件数			
		単位		%		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	80	80	80	80	198	28	30	30	198	28	30	30
	実績	0	21	27		9	42	77		9	42	77	
	達成度	34%				257%				257%			
ロジックモデル⑤		多くの事業者が支援を受けることができています。				「プレミアム付商品券」が利用される。				コロナ禍の影響を受けている店舗の支援策及び生活困窮者への支援として、プレミアム付商品券を発行する。			
指標設定⑤	指標説明	経済動向調査における支援を受けた事業者の割合【算出式:市の支援策を受けたと回答した事業者数/経済動向調査に回答した事業者数】				商品券の換金率				商品券の発行数			
		単位		%		単位		%		単位		冊	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	80	80	80	80	-	100	-	-	-	400,000	-	-
	実績	0	21	27		-	99.50	-		-	359,112	-	
	達成度	34%											

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル⑥		多くの事業者が支援を受けることができている。				申請に対し、適切に交付を実施する。				小規模事業者等市内事業者に対して枚方市新型コロナウイルス感染症に係る小規模事業者等事業継続支援金事業の周知を行う。			
指標設定⑥	指標説明	経済動向調査における支援を受けた事業者の割合【算出式:市の支援策を受けたと回答した事業者数/経済動向調査に回答した事業者数】				交付件数				ポスター・チラシの配布件数及び窓口や訪問等での提案件数			
		単位		%		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	80	80	80	80	3,220	5,745	—	—	3,220	3,000	—	—
	実績	0	21	27		464	1,489	—		504	3,000	—	
	達成度	34%											
ロジックモデル⑦		多くの事業者が支援を受けることができている。				申請に対し、適切に交付を実施する。				市内飲食店等事業者に対して枚方市飲食店等感染症対策備品購入補助金事業の周知を行う。			
指標設定⑦	指標説明	経済動向調査における支援を受けた事業者の割合【算出式:市の支援策を受けたと回答した事業者数/経済動向調査に回答した事業者数】				交付件数				ポスター・チラシの配布件数及び窓口や訪問等での提案件数			
		単位		%		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	80	80	80	80	198	1,200	—	—	198	2,000	—	—
	実績	0	21	27		9	213	—		9	2,010	—	
	達成度	34%											

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.25
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.71
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	34,691	9,428	1,953		
	会計年度任用職員	0	1,474	1,542		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	34,691	10,902	3,495		
物件費計	1,686,370	680,870	3,749	4,754	78.9%	
歳出計	1,721,061	691,772	7,244			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	2	0	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	2	0	0		
一般財源(物件費に充当されるもの)	1,686,370	680,868	3,749	4,754		

5. 総括的分析

総括的分析	中小企業信用保険法に基づく認定業務のほか、信用保証料に係る補給金を交付することにより、国・府の支援制度では行き届かないところへ支援を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、市況に応じた必要な支援策を実施する。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 570

事務事業名称	新産業創出事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	商工振興課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3	○	R4		R5	
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		21.地域産業が活発に展開されるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	R2年度(2020年度)		年度	～	R5年度(2023年度)
根拠法令等	枚方市産業振興基本条例、枚方市立地域活性化支援センター条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	枚方市産業振興対策審議会				
事業対象	メインターゲット	市内の事業者等			
	サブターゲット	国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)、市内大学・金融機関等クラスター研究会員			
	ターゲットが抱える課題	個々の事業者では、新たな産業の創出(イノベーション)が困難。			
	ターゲットが抱える課題	アイデアを実現するためのフィールドがない。対応可能な事業者が少ない。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事業者が集まり、市域経済が活性化している(枚方に来ればNICTに繋げてくれる)。				
事業概要	<p>連携協定を締結している「国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)」と、市内事業者との連携による新産業の創出に取り組む。</p> <p>本年度は、7月20日開催「ひらかた地域産業クラスター研究会」で市内事業者より4件の課題を抽出。同研究会での検討を行った後、NICTに繋げていく。また、12月4日開催「枚方産学公連携フォーラム」講師にNICTスタッフを招聘。市内企業が抱える課題改善の一助とする。</p> <p>事業者に限らず行政も含む様々な分野でNICTを活用していくこととし、コロナ後を見据えたデジタル化(アプリケーション開発)など、NICTと繋ぐ仕組みづくりについて構築・運用を行う。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		新産業による取組が具体化される。				新産業創出に向けた取組みが開始できる。				新産業研究希望者への支援を行う。			
指標設定	指標説明	新産業の創出につながった割合				新産業創出に向けた取組み件数				新産業創出に向けた支援回数			
		単位		%		単位		件		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)			100	100			2	2			2	2
実績			50				2				2		
達成度	50%				100%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.25
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	0	1,953		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	0	1,953		
物件費計	0	0	24,671	24,875	99.2%	
	歳出計	0	0	26,624		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	7,602	9,000	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	655	694	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	8,257	9,694	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	16,414	15,181	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>大学院生による市内中小企業検索ポータルサイトの開発に関する提案の具体化に向けた取り組みや、市内大学院生による人流センシング技術を応用したツールの実証実験の場の提供など、NICTと連携し、創業に向けた支援を実施したことにより、起業に対する意欲や発想はあるが、知識や経験が不足している若手の起業家を対象とした支援の必要性が再認識された。</p> <p>また、NICTとの連携により、枚方産学公連携フォーラム2022において、試行実施として「みなっば」を活用したバーチャル展示のモデルケースを発表することで、バーチャル展示会実施に向けた検討を進めることができた。</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	<p>地域活性化支援センターにおけるスタートアップへの創業支援として、起業に対する意欲や発想はあるが、知識や経験が不足している若手の起業家を主に対象とし、市や関係機関が伴走支援し、学びと実践の場を提供するプログラムである若手起業家支援事業「起業街道 枚方塾」を実施する。</p>

事務事業実績測定調書

R4調書番号 588

事務事業名称	工場立地法届出受理事務										
測定年度	2022(R4)年度		部	観光にぎわい部			課	商工振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	24.まちなかのみどりを育てるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2007(H19)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	工場立地法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内で工場を持つ事業者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	法令に基づいた事業実施が求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	環境保全、市民の安全安心に繋がる。				
事業概要	工場立地法に係る相談 開発・建築確認に係る事前協議 工場立地法に係る届出受理				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
			工場立地法に係る届出を受理する。				工場立地法に係る相談や開発・建築確認に係る事前協議を受け付ける。				
指標設定	指標説明		工場立地法に係る届出受理件数。				工場立地法に係る相談や開発・建築確認に係る事前協議の件数。				
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値			単位	件		単位	件			
	目標 (見込み)			R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績			3	3	3	3	25	25	25	25
達成度			4	5	4		38	37	22		
			133%				88%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,994	1,964	1,562		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,994	1,964	1,562		
物件費計	0	0	0	0		
歳出計	1,994	1,964	1,562			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	市内で規制以前に建てられ、基準が満たしていない工場があることから、今後も、適切な指導に努め、適宜必要な届出を求めていく必要がある。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、制度の周知に努め、適正な協議及び効率的な事務執行を行う。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 863

事務事業名称	商工振興課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	観光にぎわい部			課	商工振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	各種庶務事務等を正確かつ迅速に執行することで、商工振興課所管事務を適正かつ円滑で効率的に執行する。				
事業概要	課の運営業務(先端設備等導入計画事業、市駅前大収穫祭事業、議会関係、商工業・雇用関係団体事務を含む)				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)			アウトプット (活動結果)			インプット (活動)			
指標設定	指標説明										
	指標種類										
	指標数値	目標 (見込み)									
		実績									
	達成度										

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.50
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	6,779	11,786	11,718		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,779	11,786	11,718		
	物件費計	3,837	1,009	2,530	3,537	71.5%
	歳出計	10,616	12,795	14,248		
歳入	国庫支出金	7,864	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の物件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	2,168	951	1,340	1,591	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	10,032	951	1,340	1,591	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	58	1,190	1,946	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、関係団体との調整や議会関係事務が増加した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	各種庶務関連事務を正確かつ迅速に執行する。